

第7回 1ビット研究会 開催要領



日 時：2013年6月26日（水） 13:30～18:00（開場 13:00）
 場 所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 63号館 2階 04～05会議室
 主 催：早稲田大学 IT研究機構 1ビットオーディオ研究会

■プログラム

- 司会進行 副委員長 橋本誠一（ヤマハ株式会社 研究開発センター グループマネージャー）
 1. 開会挨拶 委 員 長 及川靖広（早稲田大学 教授） 13:30～13:40
 2. 発表テーマ

(1) 22MHz, 1bit レコーダによるオーラルヒストリーの記録保存 13:40～14:20

山崎芳男教授、八十島乙暢（早稲田大学）

【概要】UCLAの所有する日本移民のオーラルヒストリーオープンリールテープをNAGRAのテープレコーダで高速再生し、22MHz, 1ビットレコーダーでデジタルアーカイブした。後処理の手法を含め、試聴を交えながら解説する。

(2) 1ビットのUSB伝送について技術解説 14:20～14:50

森 拓也（インターフェイス株式会社 第一営業部課長補佐）

【概要】USB DAC市場にはDoP方式、ASIONative方式の2つのUSB Audio Streamingフォーマットがある。それらの方式の違いについての解説を行う。また、ITF-DSD via USBでの独自のUSB Audio Streaming技術についても紹介する。

(3) 1bit対応8chオーディオインターフェイスの試作と録音の実践 14:50～15:30

相川宏達（株式会社 アイ・クオリア代表）

【概要】1bit形式で録音再生が可能な8ch入出力オーディオインターフェイスを試作した。この試作機の概要とサラウンド録音の実践について試聴を交えながら解説する。

————— 休憩 ————— 15:30～15:50

(4) PCオーディオの業界動向、市場動向に対してのLUXMAN社の取組と考え方 15:50～16:30

小嶋 康（ラックスマン株式会社 商品企画室室長）

【概要】1ビットDSD対応USB-DAC DA-06を含むDAC、AMP及び機器開発に対する考え、並びにDA-06の商品企画意図等にフォーカスを当てる。試聴を交えながら解説する。

(5) AudioGate, Clarity から DS-DAC-10まで：KORGのPCオーディオへの取組 16:30～17:10

大石耕史、石井紀義（株式会社コルグ 開発1部）

【概要】AudioGateで培った技術を応用し開発された1bit DAWシステム"Clarity"、その研究成果から生まれたDS-DAC-10。コルグでの2006年以降のPCオーディオへの取組について、開発担当者が試聴を交えて技術解説する。

3. フリータイム：発表者との交流会。技術・製品紹介や試聴デモあり。 17:10～17:40

4. 閉会挨拶 副委員長 三枝文夫（株式会社コルグ 監査役） 17:40～17:50

————— 閉会 18:00 —————

■参加方法

- ・参加費：無料
- ・事前申込：必要ありません。当日会場受付にて記帳をお願いします。
- ・参加条件：1ビットオーディオ研究会の会員及び1ビット技術に関心のある一般の方。

■お問い合わせ先

小西 雅 早稲田大学 理工学術院 総合研究所 理工学研究所 音響研究室
 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館S棟6階607号室
 電話：03-3200-2046 E-Mailアドレス：1bitcons@acoust.rise.waseda.ac.jp

————— <早稲田大学 IT研究機構 1ビットオーディオ研究会> —————

委員長：及川靖広 委員長代行：山崎芳男